



# 第12回 JCOMM in 福岡

# 「気」が集まればなんとかなる!大鰐線復活への序章

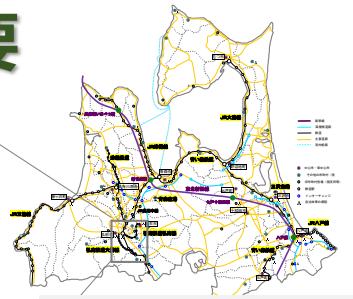
弘南鉄道大鰐線存続戦略協議会 / 弘南鉄道(株) / 弘前市都市環境部都市政策課交通政策推進室  
【発表】(一社)北海道開発技術センター

オオカニセン

## MM実施までの背景

- 大鰐線の利用者数：1974年度（S49年度）約400万人をピークに2010年度（H22年度）は約62万人に。（**80%以上減少**）
- 2013年（H25年）の弘南鉄道株主総会で、社長から「**2017年3月で大鰐線を廃止する方向**」という意見表明。
- 同年7月に廃止について白紙撤回となるものの、経営改善や支援計画を話しあう「**大鰐線存続戦略協議会**」を設置（事務局：弘前市）。
- 以後、経営状況調査(H25年度)、**利用促進計画策定**（H26年度）を実施。
- 2015年度（H27年度）から本格的に**利用促進（MM）**を実施。

## 大鰐線の概要



- ・青森県内の弘前市と大鰐町を結ぶ路線
- ・中央弘前駅～千年～石川～大鰐(全14駅/全長14km)
- ・沿線人口約5万人

## 平成28年度に実施した利用促進

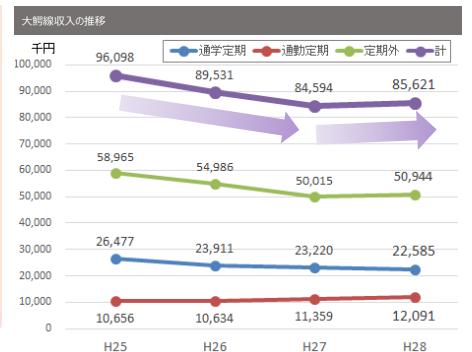
### 各種利用促進の効果

いきなりですが

- 高校生MM（生徒と保護者の会話を通じた態度行動変容施策）  
→ **送迎をしている家庭のうち、6割以上で送迎抑制意図が形成**された
- 住民MM（ワンショットTFP）  
→ 少なくとも1ヶ月間、**定期外利用が（未実施駅に比べて）10～40%増加**
- 通院利用を促す企画切符「通院あんしんパス」  
→ **月250枚以上の利用** / H29.4から事業者により**本格導入が実現**
- バル街、西弘きっぷ、コンソーシアムの取り組みなど、大鰐線を活用したまちあるき、遠足、「飲み」などの**波及的取り組み多数**

**大鰐線利用者数**  
前年に比べて…通勤定期7.5%増、  
通学定期5.8%減少、定期外2.2%増 → **全体で0.7%減**

**大鰐線収入**  
年間数%ずつ減少していたところ…  
→ **8年ぶりに1.2%の収入増!**



の一部

## MM 弘南鉄道×弘前市×関係者

### 小学生向けMM

- 公共交通の利用促進に資する**出前教室**を実施（2年生×1校、3年生×2校）
- 座学とバス・鉄道の体験乗車（1校では、無料バスお試し券を配布し、簡易な行動プラン法を実施）

### 中学生向けMM

- 高校進学後の公共交通通学を促すため、**中学3年生の進路説明会の場で生徒・保護者を対象に出前教室**を実施（1校） ※市内高校への公共交通通学方法をまとめた「通学カタログ」を配布
- 高校受験後の**入学説明資料とあわせて動機付けリーフレット**を配布（市内全高校/約2,300部）

### 高校生向けMM

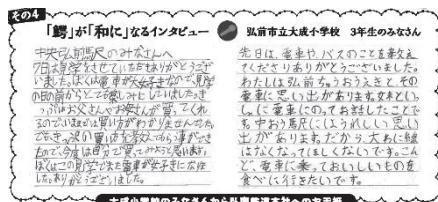
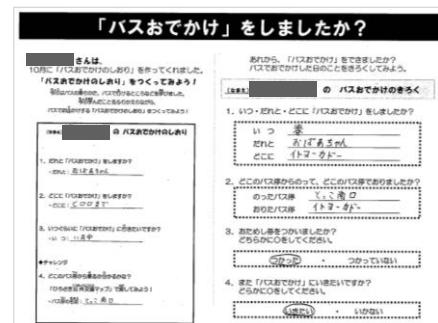
- コミュニケーションアンケートと動機付け冊子を配布（沿線4校/約1,450部回収/回収率73%）
- 高校までの公共交通通学方法をまとめた「通学カタログ」も配布
- 生徒・保護者の話し合いを促す設問により「**会話・議論**」を経た「**通学方法見直し意図**」の形成

### トラベル・フィードバック・プログラム

- 弘前学院大前駅、石川駅の周辺住民計2,500世帯を対象に**ワンショットTFPを実施**（9月）
- 行動プラン法、動機付け冊子、公共交通総合時刻表（JRがある石川のみ）

### 企画切符の作成

- 通院あんしんパス：大鰐線で医療機関に通う場合、復路が無料（4月から復路100円で本格導入）
- 西弘きっぷ：沿線商店街「西弘」で買い物等をするると復路の大鰐線が無料（毎月24日・25日・26日）



## 利用環境整備 弘南鉄道×弘南バス×弘前市

の一部

### 高齢者のお出かけ支援

おでかけシニアパス

65歳以上の高齢者

大鰐線と路線バスが割り引きになるパスを発行先着100名/400円以下の区間100円、400円以上の区間300円引き

### 子育て世代のお出かけ支援

まちなかおでかけバス

小学生以下の子どもがいる世帯

大鰐線と路線バスが割り引きになるパス/子ども無料、同行する保護者100円

### 鉄道と路線バスの乗り継ぎ促進

大鰐線-路線バス乗り継ぎ割引

中央弘前駅利用者と弘南バス定期券利用者

大鰐線と路線バスの乗り継ぎ100円割引